

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

### 施工の前に…

商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の施工については必ず本説明書に従ってください。

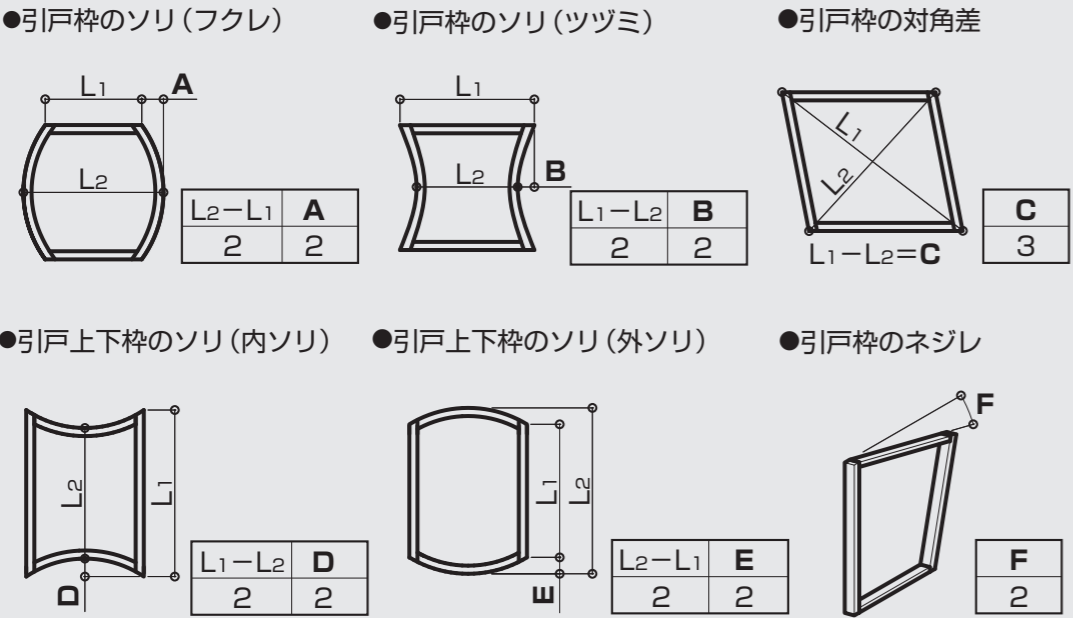
### 施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

### 引戸取付精度

引戸取付精度が下記寸法以下になっているか確認し調整してください。  
下記寸法を超えると気密・水密性が悪くなります。 単位：mm



### 同梱部品一覧

番号	①	②	③			
姿 図						
品 名	皿木ねじ (φ3.1×25)	皿木ねじ (φ3.5×40)	皿木ねじ※ (φ3.1×20)			
品 番	WF-3125	WF-3540	WF-3120			
個 数	2枚建	9~19	8~14	—	14~30	—
	2枚建ランマ付	11~19	6~10	4~8	10~16	8~20
	4枚建	10~20	8~16	—	16~32	—
	4枚建ランマ付	12~20	6~10	4~10	10~22	10~22
備 考	枠取付用	上・たて枠取付用	上・たて枠取付用(ランマ部)	アンクル取付用	アンクル取付用(ランマ部)	

※アンクル無枠の場合は付属しません。

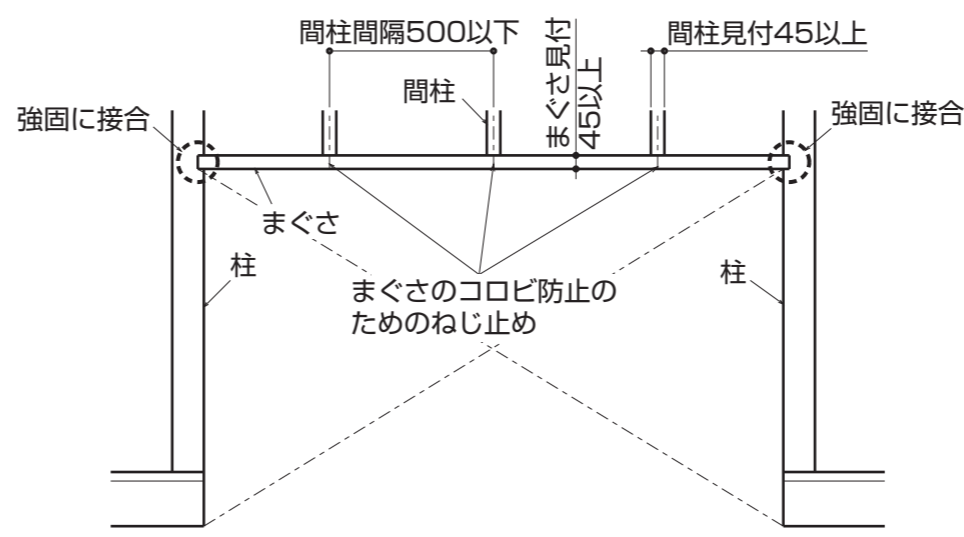
### 注意

- 樹脂部はアルミ部に比べ破損しやすいため、取扱いには十分ご注意ください。
- 反り、変形等防止のため、樹脂部を直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂部材の長さは、温度変化により多少伸び縮みしますのですき間を生じることがあります。
- 樹脂部をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 本商品は複層ガラス仕様のため、相当の重量になります。運搬時には十分ご注意ください。

### お願い

- 取付開口部の水平・垂直・対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
- 取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 商品周辺の防水処理と商品本来のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。
- 漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- 連窓・段窓する場合は、連窓方立・段窓無目の説明書を併せてご覧ください。

### 開口部について



■まぐさ・窓台・間柱は見付45mm以上のものを使用し、間柱間隔は500mm以下としてください。

- 住宅およびサッシの性能保持のため、以下の内容を十分お守りください。
- 支障なく開閉していただくため、

### チェックシート

取付時、下記項目の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 水平・垂直を正しく出しましたか？	
② 取付時、トルク調整をしましたか？	
③ 枠の下にかいものを敷きましたか？	
④ 下枠がきちんと納まっていますか？	
⑤ 防水テープを貼付けましたか？	

### 木額縁製作時の採寸

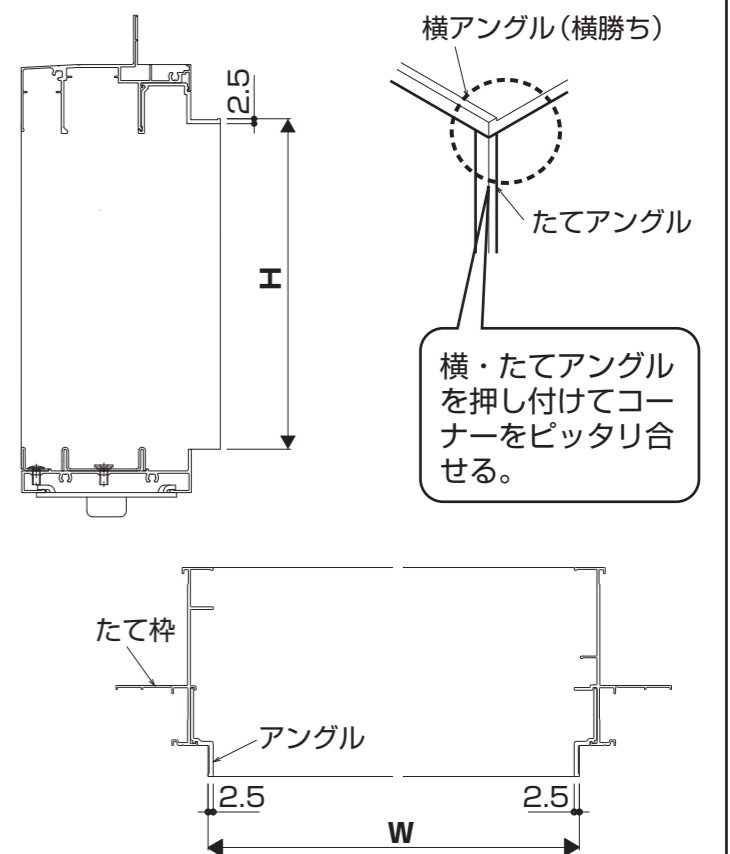
窓枠を現場採寸により取付ける場合  
樹脂アンクルは、木額縁装着時になじむよう窓額縁側に若干開き気味にしてあります。

#### H寸法

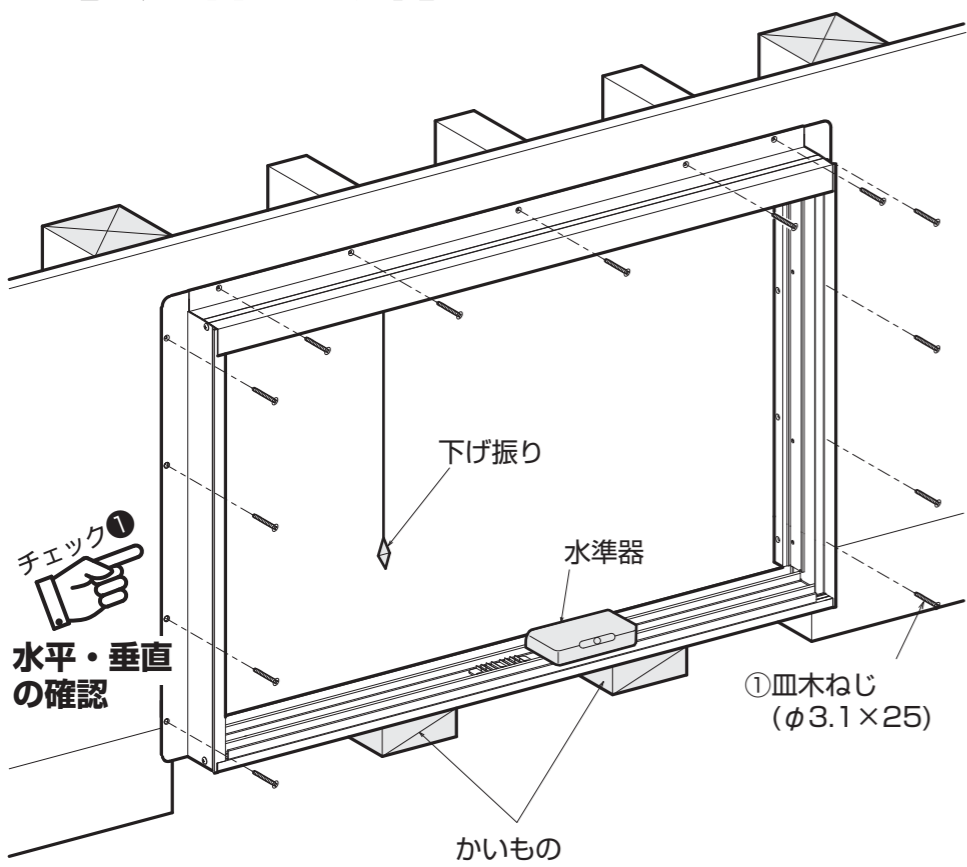
たてアンクルと横アンクルのコーナーを合せて採寸してください。

#### W寸法

上・下枠アンクルの長さを採寸してください。



## 1. 引戸枠の取付

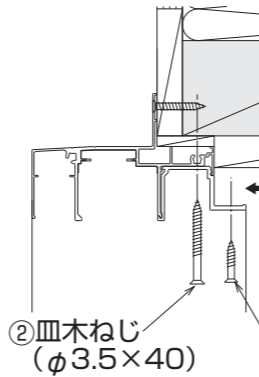


### 注意

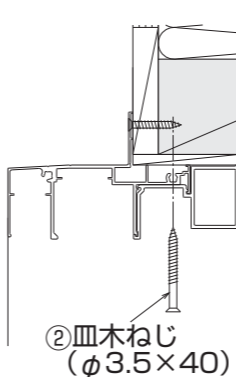
引戸枠取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
アルミ部：2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度  
樹脂部：2.0N・m(20kgf・cm)程度  
樹脂アンクル部：1.0N・m(10kgf・cm)程度

#### 上枠部

##### ●アンクル一体枠



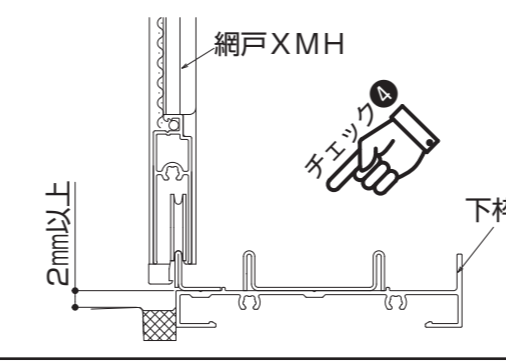
##### ●アンクル無枠



ねじは、上枠より少し浮く場合がありますが、商品上問題ありません。

#### 下枠部

下枠を納める際、下図のように下枠上端より2mm以上下がった位置で納めるようにしてください。

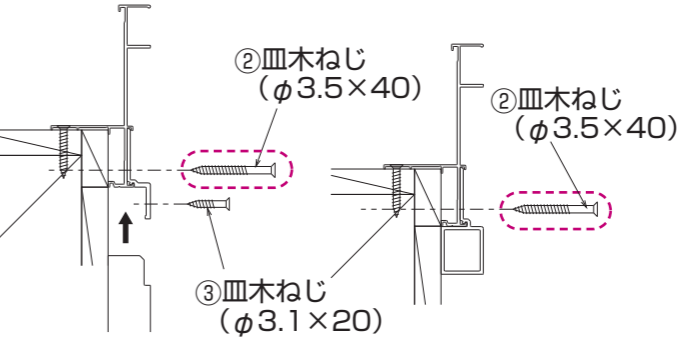


### 取付上の注意

- 本体取付け箇所には必ず柱(間柱)があることを確認してください。
- 構造合板のみでの取付けはしないでください。強度が保たれません。

#### たて枠部

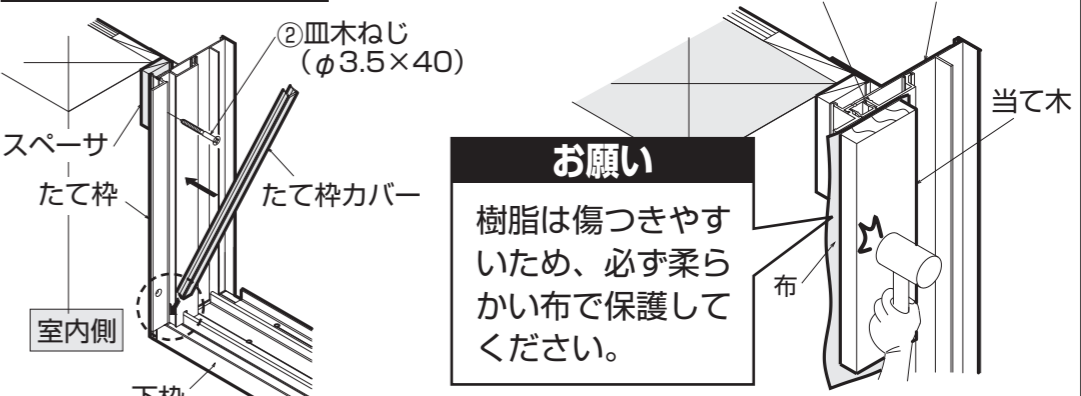
##### ●アンクル一体枠 ●アンクル無枠



### お願い

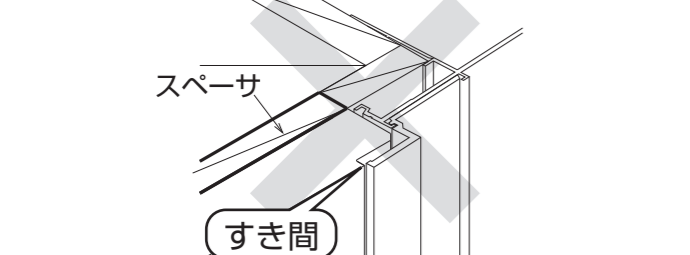
印部のねじは確実に締付けてください。  
ねじ浮き 斜め取付

#### 断熱土間引戸の場合



### お願い

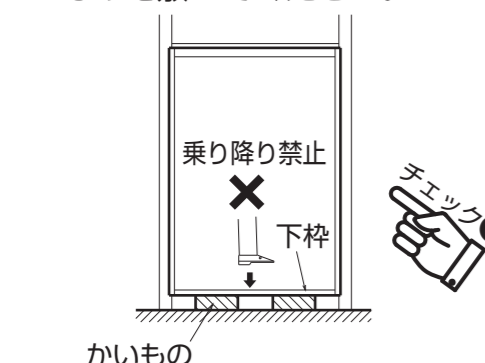
引戸枠と躯体・窓額縁と躯体の間にすき間のないよう、適正な厚さのスペーサを入れてください。



※サッシ枠にソリ・フクレが生じた場合、開閉力・性能に影響をおよぼす場合があります。

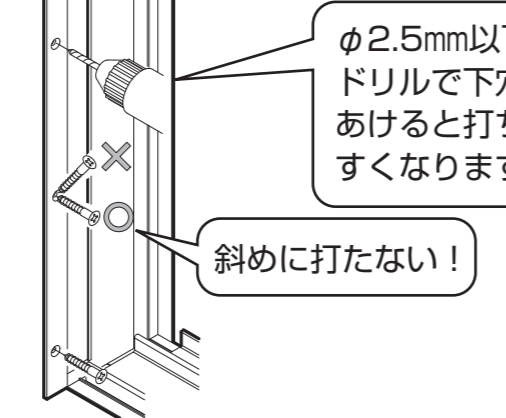
### ポイント

土間納まりの時、下枠が浮いた状態になる場合は、枠の下にかいものを敷いてください。

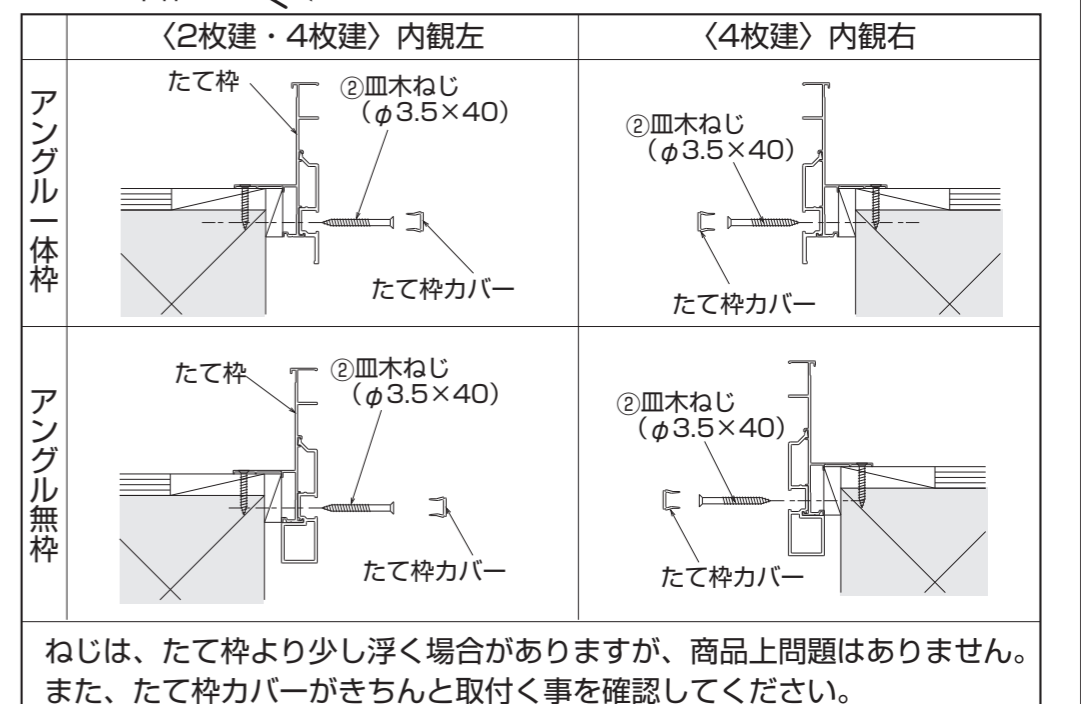
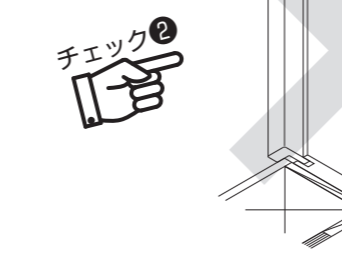


### 注意

- ねじは真直ぐに打ってください。



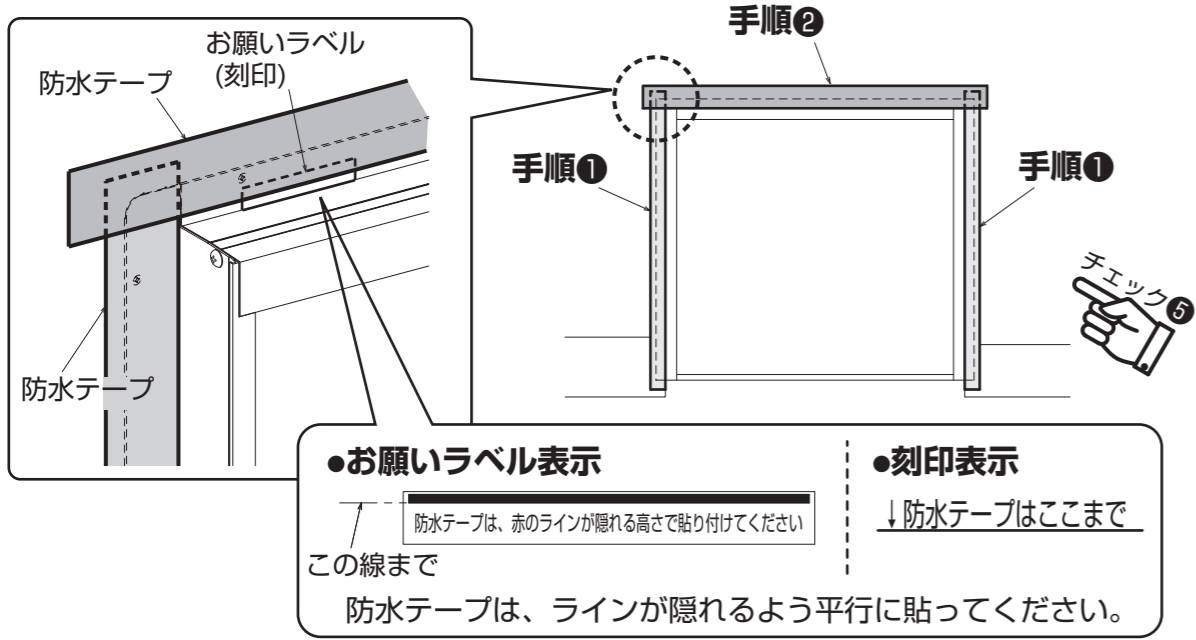
- 樹脂アンクル部は、適正トルク1.0N・m程度でねじ止めしてください。



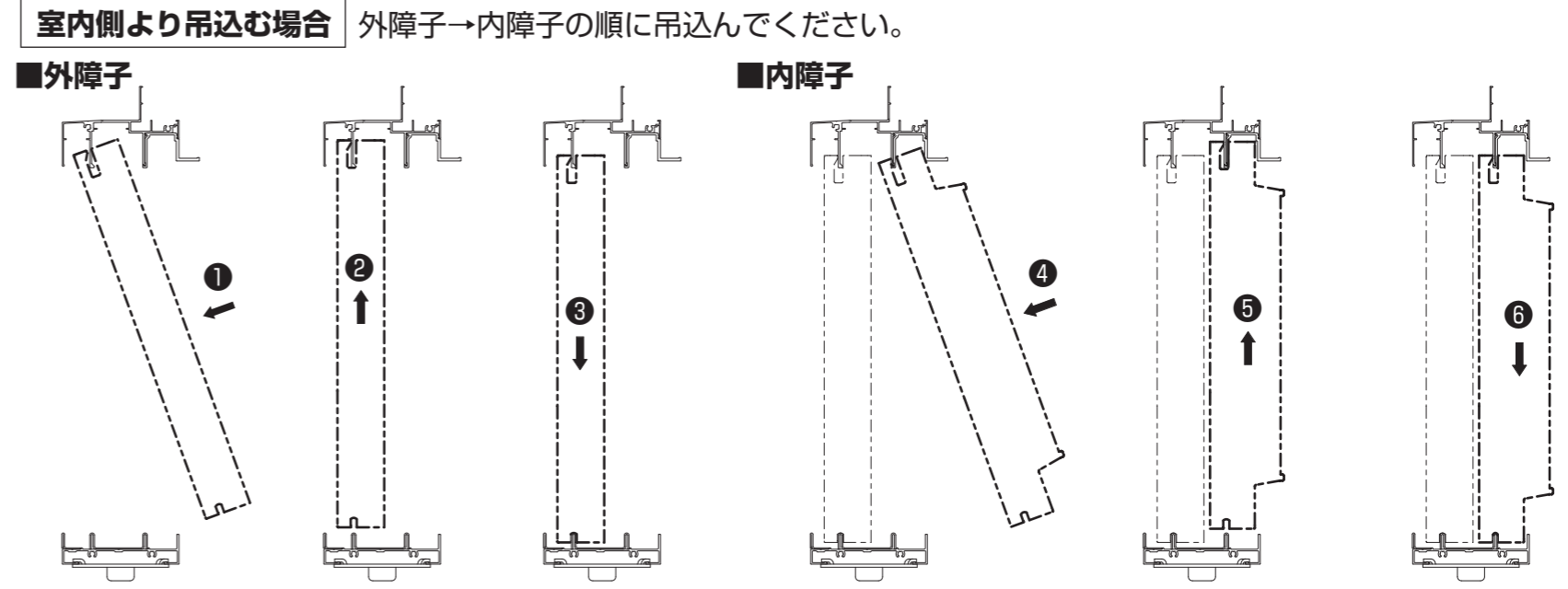
ねじは、たて枠より少し浮く場合がありますが、商品上問題はありません。また、たて枠カバーがきちんと取付く事を確認してください。

施工中にたて枠カバーをサッシ枠からはずして保管する場合は、水平にして日陰に保管してください。

## 2. 防水テープの貼付



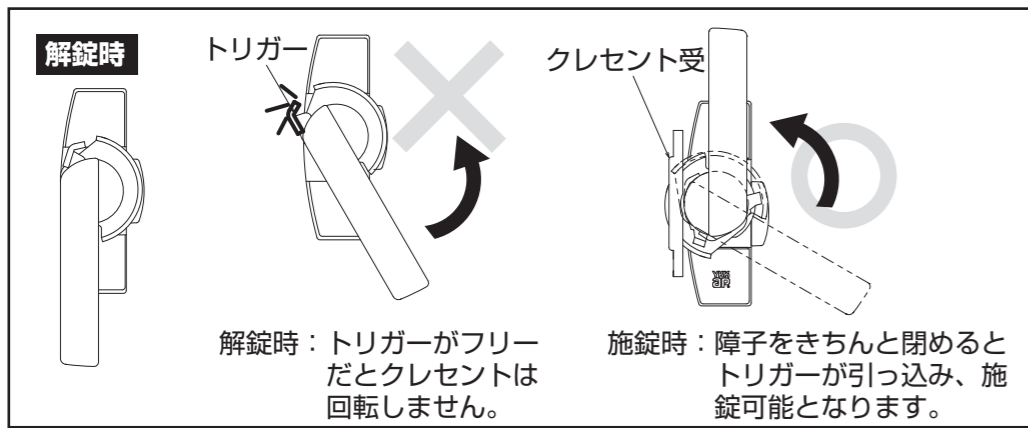
## 3. 障子の吊込み



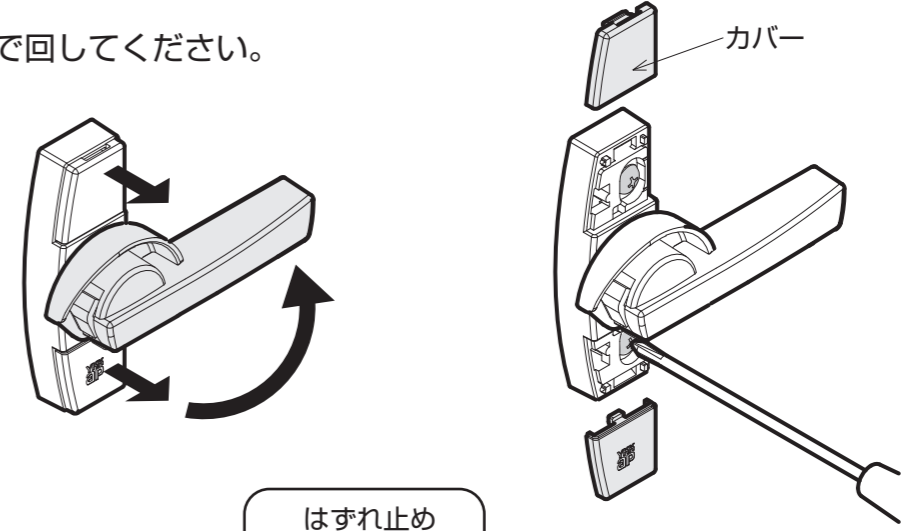
## 4. 調整



### 1. クレセントの調整<ランマ部>



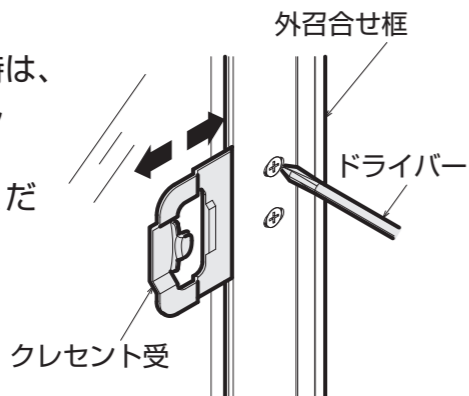
- 1 トリガーを指で押えながらクレセントを中間位置まで回してください。
- 2 クレセントの上下カバーをはずしてください。
- 3 ねじをゆるめ、上下に動かして調整してください。
- 4 調整後、必ずねじを締めてカバーを元に戻してください。



### 2. クレセント受の調整<ランマ部>

中障子または内障子をはずしてクレセント受を調整してください。

- 1 クレセントがかかりにくい時は、ねじをゆるめ、左右に動かし調整してください。
- 2 調整後、必ずねじを締めてください。



### 3. 障子はずれ止めの調整

- 1 調整ねじをゆるめてください。
- 2 はずれ止めを障子の開閉に支障のない範囲でいっぱいに上げてください。
- 3 調整後、ねじを締めてください。

#### お願い

障子を枠に取付けた時は、はずれ止め部品を必ずかけてください。  
障子が枠からはずれると事故(人損・物損)の原因になります。

